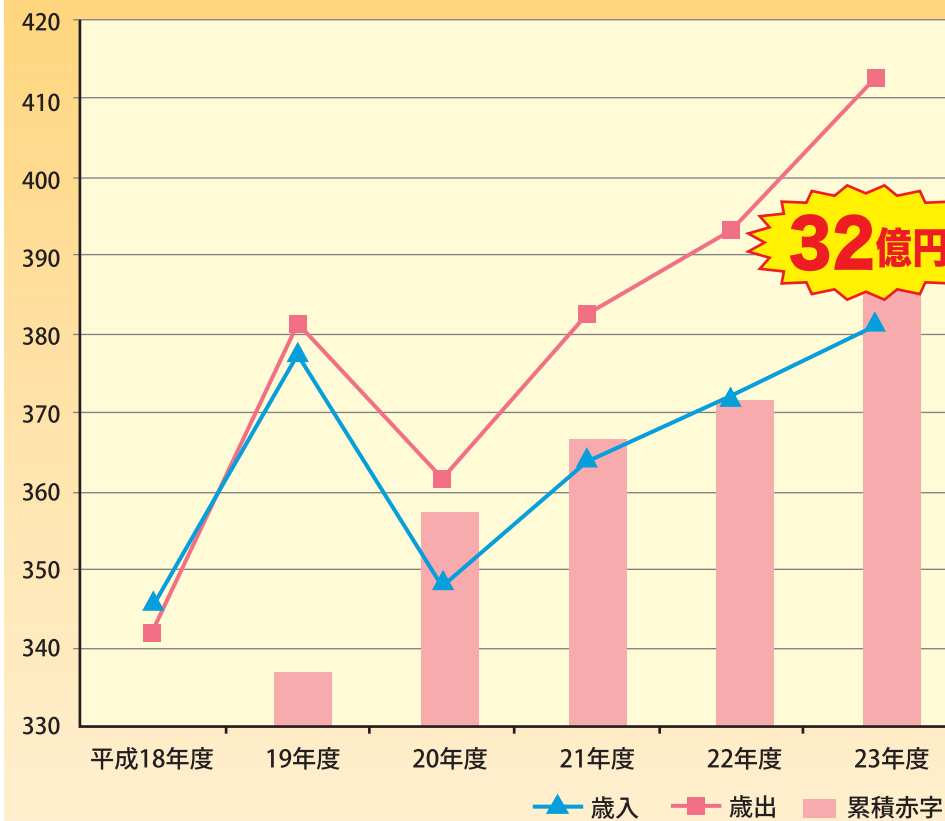


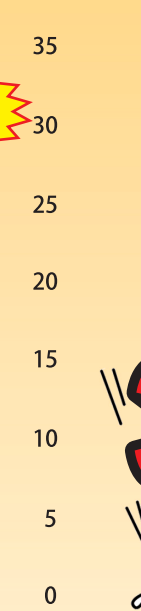
ちゃーすが!? 国保財政

～今こそ、ひとりひとりの努力で、支え合い制度の維持を～

歳入・歳出
単位:億円



累積赤字
単位:億円



那覇市の国保財政状況

国民健康保険(国保)は、病気やけがをした時に安心して医療が受けられるよう、被保険者同士が保険料を出し合い、必要な医療費に充てる相互扶助の医療保険の一つです。

しかし、現在、那覇市の国保財政は、年々「赤字」幅が広がり厳しい局面に立たされています。国保財政が厳しい今だからこそ、私達一人一人の努力が求められています。

まず、左のグラフは那覇市の国民健康保険の特別会計における歳入(1年度間の収入のこと)と歳入(1年度間の収入のこと)と累積赤字を表しています。歳入が平成18年度から右肩上がりです。これらは被保険者の高齢化や医療の高度化などが原因と考えられます。一方、国保財政は、グラフからも分かるように、歳入よりも歳出が上回っているため「赤字」となり、平成23年度決算では累積赤字が約32億円となっています。



います。歳入が増えない原因は被保険者の人数および所得の減少などがあると考えられますが、それ以上に支出が増えているのが大きな要因です。国保会計は、独立採算で行うため、不足の赤字は、実は被保険者がみんなでも補わないといけません。しかし、赤字をすべて国保税で補うにはあまりにも負担が大きいです。

みんなで国保を守る

膨大に膨らんだ累積赤字の解消は、時間がかかります。歳入もいっしょに増えるのも難しい状況です。では、いかにして医療費を「減らす」かが、赤字を減らすカギになります。

まずは、「健康な体を維持すること」。ひとりひとりが健康であれば、病院や薬に頼ることはありません。うちなーんちゅは、「病気が重くなってから病院に行く」と言われています。

病気が重症化すると、それだけ治療費がかさみ、医療費が増大する原因になります。そうなる前に、定期健診や特定健診を受診し、病気の「早期発見・早期治療」で健康な体を維持しましょう。

また、病院で処方されるお薬ですが、沖縄県は「ジェネリック医薬品の使用割合が全国1位です。ジェネリック医薬品は低価格でありながら、新薬と同等の効果が認められた医薬品です。窓口での負担も減りますので、これからの積極的に活用してほしいと思います。それから、「重複受診」は同じ疾病に余計に医療費がかかる



る上、薬の飲み合わせで副作用の恐れもあるため複数の病院を掛け持ちするのはやめましょう。そして、国保の根幹となる国保税をきちんと納めていただくことをお願いします。被保険者が減少している中、たった一人の方の未納でも大きな痛手となります。納付については、口座振替だと納め忘れがありませんので、手続きをお願いします。

お問い合わせ 国民健康保険課 ☎862-4262



電話で国保税納付の督促を行う翁長市長

その電話
ちよつと待って!

去る4月に市内で行政職員をなめる人物から「医療費の還付金がある」という電話があったという報告がありました。詐欺の手口と思われるものですが、還付について役所から電話を掛けることは、絶対にありませんので、そうした電話には十分ご注意ください。



主な紙面

- 今月号より広報紙リニューアル!!保健情報や新コーナーも登場し、より充実。これからは分りやすく、親しまれる広報紙づくりに努めてまいります!
- 特集:「ちゃーすが!?国保財政」……1
- ヘルストリビューン……2
- ほけんインフォメーション……3
- ミニ特集:環境トピック/他……4
- ニュース・ダイジェスト……5
- 特集:「あそびに出かけよう」……6
- 情報バック……8
- 博物館トピック/歴史……9
- 協働さん、うちなーぐちはあじくーたー……10
- ……11
- ……12